

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

## 「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業 探そう見附のいいところ研究会

4.5

- 2 トピックス (社)全国公民館連合会第49回通常総会開催される
- 3 視点 子どもたちに期待すること
- 3 ひろば 笑顔をつなぐ「竹とんぼ」
- 6 実践記録シリーズ 子育て講座 ー聖籠町の試みー
- 7 サークル交流 オフロードバイクで仲間作り(上越市) / 絵筆と共に(三条市)
- 7 素顔拝見 西尾佐知代さん(佐渡市) / 帆苺 純一さん(出雲崎町)



### 「楽しい英会話教室」 出雲崎町公民館

表紙解説 こどもたちに小さなころから英会話に慣れ親しんでもらおうと、今年度から英会話教室を始めました。楽しそうな笑顔が印象的です。

# (社)全国公民館連合会 第49回通常総会開催される

## 新会長に鹿熊久三氏就任 (富山県公連会長)

去る6月11日(水)第49回全公連通常総会が、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟国際会議室で開催された。

当県公連からは、正会員として鈴木会長が、オブザーバー会員として相澤事務局長が出席した。

当日の議事等の概要は、次のとおりである。

①新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について  
②社会教育法の一部を改正する法律案の概要(教育基本法の改正を踏まえた規定の整備等、社会教育施設の運

営能力の向上、専門職員の見資質の向上と資格要件の見直し、その他)  
③学校支援地域本部事業等について、約30分にわたり説明がなされた。

その後、平成20年度功労者表彰が行われた。被表彰者名簿は、別掲のとおりである。  
引き続き議事に入り(議長・高知県公連阿部会長)

・議案第1号 平成19年度事業報告書及び決算書の承認  
について(監査報告)

・議案第2号 平成20年度事業計画(案)及び予算書(案)について提案された。

事務局から、「事業の展開にあたって教育基本法・改正社会教育法の下での公民館のあり方と課題認識」として、次の五つの視点を念頭に、諸事業を展開したいとの説明がなされた。

(1)公民館は、教育基本法の理念を具現化する

(2)公民館は、社会教育法(第5章)により実践を展開する

(3)公民館は、学校をはじめ地域の諸団体と強固な連携をはかる

(4)公民館は、職員の仕事ぶり」で期待と信頼に応える

(5)公民館は、「公民館組織」がより良く機能することによって元気になる

・議案第3号 任期満了に伴う役員の変更(昼食・休憩の間に選考委員会開催)

・議案第4号 第31回全国公民館大会

### 社団法人全国公民館連合会 役員名簿

顧問	森 喜朗	衆議院議員
会長	松下 誠	社団法人全国公民館連合会・前会長
副会長	鹿熊 久三	富山県公民館連合会・会長
	松澤直太郎	山形県公民館連絡協議会・会長
	福間 敬明	鳥根県公民館連絡協議会・会長
	長谷川正明	財団法人日本国際教育支援協会・理事長
	神崎 節生	神奈川県公民館連絡協議会・会長
常務理事	石川 正夫	社団法人全国公民館連合会・事務局長
理事	村松真貴子	アナウンサー・エッセイスト
	吉木 靖範	佐賀県公民館連合会・会長
	松澤 宣泰	弁護士
	朱膳寺宏一	千葉県公民館連絡協議会・会長
	岩崎 正伸	和歌山県公民館連絡協議会・会長
監事	阿部 紀夫	高知県公民館連絡協議会・会長
	小寺 昭久	石川県公民館連合会・会長

### お知らせ

公民館月報6月号の特集「里山再生推進支援事業への取組み」について、新潟市新津地区公民館の佐藤さんから次のような続報がありました。

里山に関するスペシャルコンテンツが公開となりましたのでお知らせします。是非一度ご覧ください。

あきは発 里山冒険王 ーにいつ丘陵はみんなのワンダーランドー  
→<http://www.specialsite.city.niigata.jp/akihaku/>

秋葉区のホームページからも見ることができます。  
→<http://www.city.niigata.jp/info/akihaku/>

※「あきは発 冒険王」のアイコンをクリックすると、あきは発 冒険王のホームページに行きます。

問い合わせ先

新津地区公民館 佐藤

電話：0250-22-9666 ファクシミリ：0250-22-9616

・議案第5号 その他 なし  
等、すべての議案が承認された。

民館研究集会の開催について(高知県高知市)。  
なお、平成21年度は、社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会(仮称)とし、東京都で開催の案及び、第32回大会は、平成22年度に石川県金沢市(予定)の案等が提案された。

・議案第5号 その他 なし  
等、すべての議案が承認された。

# 視点

## 「子どもたちに期待すること」

妙高市教育委員会生涯学習課  
市民活動支援係

寺島 武司



今、子どもたちに必要なのは「生きる力」、特に他者とうまく関わり、人間関係をどのようにつくるかという対人関係力です。幼少期から家族に見守られながら大切に育まれますが、現代はどうしても対人的な関係が希薄となるために、自ら友人を作ったり、自分なりに居場所を確保したりすることができなくなりがちです。これが不登校や引きこもりなどに繋がっているのではないのでしょうか。

妙高市では国立妙高青少年自然の家を拠点に6泊7日の長期宿泊体験を実施しています。文部科学省では、学校教育として親元を離れての長期宿泊体験を奨励しています。これが妙高市が既に実施し、それを高く評価されている

ことです。期間中は国立妙高青少年自然の家周辺の自然環境を活かした活動を行い、夜は児童主体の活動に取り組みながら1週間の共同生活を行います。学校の先生方だけではなく、行政や上越教育大学に通う大学生スタッフ、看護スタッフが児童の活動をサポートしています。最初は容易に交わりたくても、1週間後には涙で別れを惜しみ合うまでに友情を深めます。

「可愛い子には旅をさせろ」ではないですが、妙高の児童がどんな新しい環境におかれても積極的に他者とコミュニケーションをとっていきける適応力を持つことを目指しています。実施後の児童の変容に期待しています。

# H O T N E W S

## 掲 示 板

### 県公連公民館月報編集委員会開催

公民館月報第1回編集委員会が下記により開催されました。

—記—

- 1 日時 平成20年6月26日(木)  
13:30~15:30
- 2 会場 新潟市生涯学習センター 301講座室
- 3 内容
  - (1)新潟県公民館月報  
平成20年度原稿執筆割り当て計画について
  - (2)月報紙面の特徴について
  - (3)月報平成20年10月号~平成21年3月号の特集について
  - (4)月報実践記録シリーズの情報交換等について
  - (5)実践事例集の編集について
  - (6)次期編集委員会の期日について



#### 平成20年度編集委員名簿

	氏 名	所 属
1	○内藤 薫	新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課 副参事
2	小池 和美	上越市立公民館 直江津地区公民館 主任
3	○堀越 基	燕市中央公民館 館長
4	○松縄 廣道	津南町公民館 館長
5	○見原 健司	阿賀野市中央公民館 館長
6	樋口 栄子	新潟市新津地区公民館 主幹
7	○石山由里子	新潟市中央公民館 主査

○印：新任

# ひろば

## 笑顔をつなぐ「竹とんぼ」

新発田市民館 大川原さとみ



「竹とんぼを作って飛ばそう！」私たち「みらい子育てネット・新潟(母親クラブ)」の会員は、中越沖地震で被災した児童クラブの子どもたちへ遊びのプレゼントを持って出かけていきました。悲惨な状況の中で、ほんのひと時でも子どもたちに明るい笑顔を呼び戻せたらという思いでした。



仕掛  
け人は、  
本会の  
副会長  
でもあ  
る奥立  
女子短  
大の植  
木先生。  
竹とんぼの材料は、中越地震の時に勇気づけてくださった、金沢市の竹とんぼ

名人山岸さんからのもの。それを使って新潟の名人として活躍してくださったのは三条市の野崎さん。昨年退職され、私たちの活動をいつも応援してもらっています。

竹とんぼなどで遊んだことのない子どもがほとんど。なかなかうまく飛ばせません。名人や先生にコツを聞きながら、世界に一つしかない自分だけの竹とんぼを作って飛ばしている子どもたちの目は輝いています。そして、満面の笑顔をみせてくれました。

子どもたちに一日も早くほんとうの笑顔が戻りますように。



# いいところ研究会

## 3 指導者について

学習会、探訪会では、現在活動中の見附文化財ガイドボランティアのグループのみなさん、実行委員、学習人材バンク登録者より講師となってもらいました。

## 4 事業の成果について

長年、見附に住んでいても知らないことが意外に多く、オリジナルマップを持って、実際に歩き「歴史、文化財、自然」について講師の説明を聴いたり、学習することにより新しい発見がたくさんあったという参加者の感想が多くありました。(毎回、参加者より『ふりかえりシート』を提出していただきました。)また、学習会、探訪会での市民同士の交流だけにとどまらず、この学習の成果を活かすことができる体制を整えていきたいと考えます。

さらに、将来的に既存のボランティアガイドの



1/17学習・探訪会「学習会と戊辰戦跡めぐり」

グループのみなさんと協力し、ボランティアガイド体制を構築することにより、見附を案内することのできる人材の発掘と育成につなげていきたいと思えます。

ひいては、団塊世代のみなさんがこの仲間に加わることにより、生きがいを見出してほしいと考えます。

## 5 今後の課題とその対策

- ①19年度のこの活動をまちのボランティアガイドの体制作りにつなげていくためには、人材の募集・確保などの課題があります。
- ②20年度も、より多くの市民の参画、人材の育成に向けて、学習を重ねていく機会の提供が必要です。
- ③上記の課題への対策として、行政側の支援を図っていくとともに、市民主体の体制を整えていくことが必要であると思われる。



2/17探訪会「田園地帯と新潟のへそコース」



2/14学習・探訪会「生命の詩人矢沢幸のふるさとを訪ねる」  
～探訪出発前の学習会～



3/2探訪会「里山・城山コース：小栗山不動院にて」

# 特集

## 「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業

# 探そう見附の



見附市まちづくり課  
生涯学習推進係  
星野 栄

### ○事業の概要

平成19年9月に「探そう見附のいいところ研究会」が発足し、次のような事業を実施しました。

#### 1 事業のねらいと活動内容について

##### 〈目的〉

現在、見附市には数種類のマップが存在するが、誰が見ても一目で分かる『いいところ見附』のマップがなく、体験活動・学習などで困ることが多い。そこで、子どもから大人まで使用できる楽しいところ満載の見附のマップを作成する。その後、小学生から高齢者まで広く参加者を募り（親子、夫婦での参加も歓迎）、完成したマップを教材として『ふるさと見附の発見体験』をすることにより、地域への理解を深めるとともに市民同士の豊かな交流を図る。

##### 〈活動内容〉

- ①実行委員会（探そう見附のいいところ研究会）でマップを作成しました。
- ②市民を募集し、歴史、文化財、自然に関する『見附新発見』『見附再発見』をテーマに探訪したり（探訪会）、学習会を6回開催しました。
- ③学習会・探訪会で研鑽を積みあげていく中で、今後、見附を案内するボランティアとして活動



12/16「いっしょに歩いて見附再発見しませんか？」  
～探訪出発前の学習会～

してくださる人材の発掘、育成につなげていきたいと考えています。

※マップの作成は、9月より研究会員が情報を収集し、編集、作成しました。

### ◆『探そう見附のいいところ！見附再発見・新発見シリーズPart1～Part6』

Part1：12月16日（日）探訪会～『いっしょに歩いて見附再発見しませんか？』

Part2：1月17日（木）学習・探訪会～戊辰戦争について学ぼう『学習会と戊辰戦跡めぐり』

Part3：1月27日（日）探訪会～『歩いて！見て！聞いて！冬の見附新発見』

Part4：2月14日（木）学習・探訪会～『生命の詩人矢沢幸のふるさとを訪ねる』

Part5：2月17日（日）探訪会～『田園地帯と新潟のへそコース』

Part6：3月2日（日）探訪会～『ふるさと見附の自然・歴史・文化をマップ片手に歩いて！観て！聞いて！再発見しませんか？  
～とっておきの3コース：希望コースを新人ガイドが案内』

### 2 事業のPRについて

- ①ポスター、チラシを作成し、各公民館や市民交流センター（ネーブルみつけ）に掲示、設置しました。
- ②広報見附、イベントカレンダーに掲載しました。



12/16探訪会「いっしょに歩いて見附再発見しませんか？」

# 実践記録

## 124

### シリーズ

## 子育て講座 — 聖籠町の試み —

聖籠町公民館 社会教育指導員 渡辺 典子

### ○はじめに

聖籠町では、旧聖籠中学校校舎を公民館分館「結いハート聖籠」として活用しています。小さな調理室や多目的ホールを備えたこの施設を拠点にして展開された、二つの子育て支援に関する講座をご紹介します。

### 1 家庭教育学級「わたしへのごほうび講座」

#### \*目的

一日中家事と子育てに追われている若い母親に、たまには子どもを預けて、自分だけの時間を作り、リラックス、リフレッシュすることで、自分自身を見つめ価値観を広げ、ゆとりのある子育てが出来るよう支援するものです。また、さまざまな実習や体験をすることで、学ぶことの面白さを知り、自分自身を啓発するきっかけとなればという願いも込められています。

実はこのタイトルは、以前研修会で事例として上がったもので、その発想の面白さに、これだ!と思い、早速取り入れました。

子育てはどうあるべきかという勉強講座よりも、まず、母親の育児不安やイライラ、もやもやから解放することで、新たな気持ちで子育てに向き合えるのでは?との発想にもとづくものです。

堅苦しい縛りから解放されたいのは、母親ばかりではなく、企画する我々自身かも知れませんが。

#### \*参加者の声

- ・たくさんの人と知り合いになれた。
- ・新しい体験ができて、子育てのごほうびをもらった気分になれた。
- ・自分の時間を持つことの大切さを感じた。
- ・気持ちが楽になって、リフレッシュできた。など

#### 平成19年度の内容

	テーマ、及び内容	講師
第1回 11月20日	心が軽くなるコミュニケーション講座	心理カウンセラー
第2回 11月28日	カラーセラピー プチ体験-自分と話そう-	カラーセラピスト
第3回 12月4日	かんたん手作りおやつ	食生活アドバイザー

- ・就園前の子を持つ母親23名参加(3回とも保育ルームつき)

### \*平成20年度の計画

アンケートの結果から、今年度はさらに心身の癒しをテーマに、今話題のピラティスやフラワーアレンジメント、また、手作り弁当の薦めなどを計画しています。

### 2 新米ママの生活塾-「レシピのない料理教室」-

#### \*主旨

最近の食に対する意識の低下と食卓の崩壊は、まさかと思うほど進んでいます。食はいのちを作り支えるもの。躰の基本も生活リズムの基本も、「食」をしっかりと据えることから始まると考えています。子どもを持つ若い母親をターゲットに、料理本をめくりながらの特別な料理ではなく、旬の食材を使って、毎日のご飯とみそ汁がおいしく食べられる簡単な「おかず」を作りながら、食生活を考えていこうという教室です。



受講期間は1年間で、月2回のペースで調理実習、現在8名の若い母親が子ども連れで参加しています。



平成19年度は、15回の調理実習で36種の料理と10種のみそ汁、13種のお菓子をつくってきました。聖籠町の郷土料理も定番献立となっています。

#### \*参加者の声

- ・もう1年やりたい。
- ・暮らしの中から生まれた知恵や工夫が参考になった。
- ・苦痛だった毎日の食事の支度が楽しくなった。
- ・スーパーで買ってきたコロケより、子どもと一緒に丸めたコロケがどんなにご馳走か分かった。など

### ○おわりに

「社会教育は、社会『課題』教育である」という恩師のことばを忘れずに、聞いて終わり、体験して終わりの企画ではなく、「学んだことで自分が変わった」といわれる講座を目指して、今年度も取り組んでいきたいと思っています。



小さな農山村、高齢化率4割を超える上越市大島区の若者がオフロードバイクを通じて仲間作りをしています。

チーム名は「ビックマウス」。要するに大口をたたくという意味です。しかし、言葉だけではなく若者同士が共通の趣味をネタに、様々な活動に取り組んでいます。

男女約20人のメンバーには、マラソン愛好者やスノーボードの全国大会に出場する仲間もいて、バイクだけではなく、良い汗を流して仲間同士の親睦を深めています。

### オフロードバイクで

### 仲間作り

定期的にミーティングも開き、そこに全員の意見を持ち寄り、オフロードバイクだけに限らず、次の活動内容を決めています。

これからも、健康に活発に活動していきたいと思えます。

上越市

チーム「ビックマウス」

岩野 太樹 記



### 絵筆と共に

### 日本画クラブ 黎画会

私達、黎画会は、三条市中央公民館を活動の拠点として月二回の定例会を行い、熱心な先生のアドバイスを受けながら、楽しい作品作りにはげんでおります。

当初、公民館教養講座から



始まり、卒業生の活動の場として、日本画クラブ「黎画会」を結成し、現在にいたっております。

現在、会員数十七名、年二回の発表会を行い、人々とのふれあいを大切に、活動をすすめてまいりました。

又、作品の成果を、公募展三条市展を中心に積極的に参加し、皆様の評価を仰いでおります。これからも、人々とのふれあいを大切に、楽しい作品作りに、みんなですすめていきたいと思っております。

三条市

日本画クラブ「黎画会」

山崎 正義 記

この4月新任職員として採用され、教育課社会教育係に配属された帆苺さん。いまの業務の主なものは、小学生の児童を対象に毎月土曜日を利用した自然観察会や工作教室。季節の食材を使った料理教室。出雲崎妻入りの街並景観保存を進める協議会の事務局も担当しています。

彼は新人ではあるが、常

出雲崎町教育委員会教育課

主事 帆苺 純一さん



にさわやかな笑顔を絶やさず、地域の人達に声をかけ、皆から親しまれています。学生時代から野球・サッカー・バレーボールとスポーツの方も万能です。これからもその明るさと前向きな気持ちを忘れず、町民が親しみやすい教室を企画しながら、社会教育全般が充実するよう期待しています。

(出雲崎町教育委員会教育課長 田中秀和 記)

「おはようございます！」と毎朝、元気に出勤してくるのが、今年度一年間ボランティア365で派遣されてきた西尾佐知代さんです。

彼女は富山県出身で、主に小学生を対象にした体験活動事業を月一回、また年間を通して社会教育、生涯スポーツ事業のお手伝いをしていただいています。

初回は緊張していたようですが、二回目は子どもたちや地域の皆さんとも仲良

佐渡市赤泊地区公民館

1年間ボランティア 西尾佐知代さん



くなり、てきばきと進めていました。今ではすっかり赤泊に融けこんだ西尾さん。この先も、事業を実施していかなくてはなりません。これからもいっぱい悩んでください。我々もできるだけサポートするので、新しい企画事業に挑戦しようネ!

最後に、この一年間で何かを感じていただき今後の糧にさせていただければと思っています。(佐渡市赤泊地区公民館 主事 石塚 優 記)





- 「中越の生涯学習」  
第1章 中越の生涯学習の概況
- 1 生涯学習によるコミュニティづくりの推進
  - 2 地域の人材育成と活用
  - 3 家庭教育の充実
  - 4 子どもを育てる環境づくり

- 第2章 市町村事業情報
- 1 生涯学習によるコミュニティづくりの推進
  - 2 地域の人材育成と活用
  - 3 家庭教育の充実
  - 4 子どもを育てる環境づくり(青少年対象)
  - 5 芸術鑑賞機会の充実と文化財の保存・活用
- 第3章 参考資料
- 「これからのひとづくりまっちづくり」「連携」と「住民参画」をキーワード



◆「これからのひとづくりまっちづくり」の5つの指針・努力事項・改善に向けて

◆平成20年度の方針及び主要施策の概要

◆「ひとづくりまっちづくり」の5つの指針・努力事項・改善に向けて

## 恵贈資料紹介

### 「中越の生涯学習」「これからのひとづくりまっちづくり」

### 中越教育事務所 下越教育事務所

- Iひとづくりまっちづくりの5つの指針・努力事項
- II改善に向けて
- ・住民の主体性をはぐくみ活かす体制づくり
  - ・家庭教育を地域で支援する基盤づくり
  - ・地域で子どもを育てる環境づくり
  - ・地域ではぐくむ人づくり
  - ・地域の学習資源を守り、活かす体制づくり

◆平成20年度参考資料  
以上の内容で構成されています。

**あ** 年の中越沖地震から間もなく  
**と** 一年になろうとする6月14日  
**が** 岩手・宮城内陸地震による大災害が  
**き** 発生しました。懸命に復旧・復興  
新潟県内でも、懸命に復旧・復興  
に取り組んでいる最中という事もあり、  
今回の被災地の一日も早い復旧・復興を願わずにはられません。

## event information

2008年夏の特別展

世界の昆虫 6000種!

# 昆虫ワールド

It's insect's world.

世界一の昆虫大集合!

7月19日(土)~8月31日(日)

会期中の休館日:8月19日(火)

1階 特別展示室・講堂・エントランスホール  
開館時間:午前10時~午後8時(入館は5時半まで)

深く輝く1000匹のモルフォ蝶の巨大な壁が待っている!

生きた昆虫にさわれるよ!

アリやハチなどの不思議な暮らしを観察しよう!

超高解像度人間大昆虫写真[LIFE SIZE]が初出迎え!

関連イベントも盛りだくさん!詳しくは観覧も観下す!

★料金のご案内

●特別展入場料 (入館料+特別展セット料金)		●通常入場料 (常設展示場のみ)	
前売券	大人900円 小人300円	当日券	大人950円 小人300円
		●プラネタリウム観覧料 大人200円/小人100円	

※小人:小・中学生 ※小学生未満の幼児は無料です

NIIGATA SCIENCE MUSEUM  
新潟県立自然科学館

〒950-0948 新潟市中央区安楽町3丁目1番1号  
TEL (025) 283-3361 FAX (025) 283-3336  
テレホンサービス (025) 283-3333  
http://www.lalant.niigata.ac.jp/~ns/

新潟県立自然科学館 検索

# 3

## サマージャンボ 3億円

1等 2億円(前後賞 各5千万円)・2等 1億円

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまっちづくりに使われます。

2008年市町村振興宝くじ  
7/14日発売  
発売期間:7/14~8/10  
抽せん日:8/12

財新潟県市町村振興協会